

地域活性化人材育成事業～SPARC～ フォローアップ要項

令和5年2月17日

改正：令和6年8月19日

地域活性化人材育成事業～SPARC～委員会決定

1. 内容

事業目的の着実な達成に資するため、採択事業計画を実施する大学（以下「大学」という。）に赴き、事業参加学生（以下「学生」という。）を含む関係者との質疑応答及び教育現場・施設の視察等を行うことにより、採択事業計画の進捗状況を適切に把握・確認するとともに、必要に応じて指導・助言を行う。

2. 実施体制

- (1) フォローアップは、地域活性化人材育成事業～SPARC～委員会（以下「委員会」という。）で行う。
- (2) 委員会は、採択事業計画ごとに、フォローアップ担当委員（以下「担当委員」という。）として、原則として3名の委員を割り当てる（主担当委員1名、副担当委員2名）。

3. 実施方法

(1) 実施手順

<大学>

大学は、自己点検評価や外部評価により、採択事業計画の適正な実施に努めつつ、毎年度終了時に、採択事業計画ごとに実施状況報告書（別紙1）を作成し、委員会に提出する。なお、中間評価（採択4年度目）及び事後評価（補助期間終了年度の翌年度）の評価実施前年度分の同報告書の作成・提出については要しない。

<担当委員>

- 1) 担当委員は、以下（2）に示す観点に基づき、事業計画が適正に実施されているかどうかを毎年度提出のあった実施状況報告書で確認する。
- 2) 担当委員は、実施状況報告書の確認後に委員フォローアップ報告書（別紙2）を作成し、委員会に提出する。その際、委員会が認める場合に、必要に応じて書面または現地視察による追加確認を行うことができる。なお、現地視察を実施する採択2年度目、中間評価及び事後評価（補助期間終了年度の翌年度）の評価実施前年度分の同報告書の作成・提出については要しない。
- 3) 担当委員は採択事業計画の実施期間のうち、実行初期段階として採択2年度目を目処に、教育現場・施設等の視察を行う（委員現地視察）。その際、原則として学生からの意見を併せて聴取する。また、他の委員も任意で現地視察に参加することができる。

○委員現地視察の位置付け

<初期段階での事業趣旨・目的の確認等（採択2年度目）>

- ・事業の趣旨並びに当該採択事業計画の実施の方向性の確認及び採択時の意見等への対応状況の確認を行い、必要に応じ事業趣旨に沿ったプログラムの運営がなされるよう指導・助言を行う。

○大学の関係者（現地視察対応者）

- ・全体責任者（学長）（必要に応じて同席）
- ・事業計画責任者
- ・事業担当者
- ・関係教員・職員（必要に応じて同席）
- ・学生
- ・事務局（必要に応じて同席）
- ・事業協働機関担当者（必要に応じて同席）

○実施項目（例）

- ① 事業計画責任者等との質疑応答
- ② 学生との意見交換
- ③ 教育現場・施設等の視察
- ④ 講評
- ⑤ その他、担当委員が必要と判断する事項

※実施項目並びに各実施項目にかかる所要時間は事業計画の進捗状況等に応じ、半日から一日程度の範囲において、委員会において決定するものとする。

4）現地視察後、担当委員は現地視察報告書（別紙3）を作成し、委員会に提出する。

<委員会>

委員会は、担当委員から提出のあった現地視察報告書について、その内容を確認し、必要に応じて意見等を付し、大学の確認を経た上で大学に開示・公表する。

また、委員会は、担当委員から提出のあった委員フォローアップ報告書について、その内容を確認し、必要に応じて意見等を付した上で大学に開示する。

各報告書における委員会からの意見等への大学の対応状況については、委員会の実施する中間評価及び事後評価において確認し、各評価に反映させることとする。

なお、フォローアップの過程で進捗状況に著しい問題があると委員会が判断した場合は、委員会の決定に基づき、当該事業計画に対する文部科学省による支援を縮小もしくは廃止するよう、文部科学省に意見する場合もありうるものとする。

(2) フォローアップの観点

- ・事業の趣旨・目的が適切に理解されているか。
- ・地域のニーズ等を適切にくみ取り反映しているか。また、事業責任大学及び参加校、事業協働機関間及び学内外の関係者間で、事業において取り組む改革の内容が適切に共有されているか。
- ・事業計画の実施・運営体制は適切に構築されているか。
- ・事業計画は当初の構想・計画に沿って順調に進捗しているか。必要に応じて、委員現地視察や中間評価の結果等を踏まえ当初計画が適切に見直され、順調に進捗しているか。
- ・審査結果及び中間評価結果に付した留意事項、委員フォローアップ報告書及び現地視察報告書の意見等への対応はなされているか。
- ・事業計画において提案された教育効果が期待できるものとなっているか。もしくは、効果が上がっているか。（客観的なデータ等により把握・検証しているか）
- ・各事業で自ら設定した目標や、事業を通じて達成する数値目標が順調に達成されているか。
- ・事業経費の支出内容は、費用対効果を含め妥当であるか。
- ・事業継続に向けた資金計画の状況や地域におけるコストシェア等は妥当なものであるか。
- ・事業計画を通じた大学教育全体の改革が進んでいるか。（プログラムに参画する学位プログラムの教育改革や、成果の大学全体及び他大学等への波及に向けた具体的取組の進捗状況）
- ・教育プログラムの実施において、全学的な教学マネジメントが有効に働いていると認められるか。

(3) その他

- ・実施に当たっては、大学、事業協働機関、担当委員の過度の負担とならないように配慮する。
- ・委員現地視察において、学生からの意見を精緻に聴取する仕組みを工夫することにより、学生の意見の把握と大学の取組へのフィードバックに努める。現地視察は、原則として対面で行うこととする。ただし、社会情勢を踏まえ、委員会の判断により、ウェブ会議システムによる実施等の代替措置を以て行うことができる。
- ・担当委員は、上記(1)によらない場合でも上記(2)に示す観点に基づき、事業計画が適正に実施されているかどうかを把握し、必要に応じて助言等を行うことができる。

4. その他

(1) 公表等

- 1) 各大学の作成する実施状況報告書(公表部分)及び現地視察報告書については、日本学術振興会ホームページにおいて公表する。
- 2) 委員の氏名等は、「委員会の審議内容等の取扱いについて」(令和4年6月6日 地域活性化人材育成事業～SPARC～委員会決定)に則り、当該年度のフォローアップの全過程終了後に公表することとする。そのため、自身を含め委員の氏名は他に漏らさないこと。

(2) 利害関係者の排除

大学に利害関係のある委員は、当該大学のフォローアップを行わないものとする。

(利害関係者とみなされる場合の例)

- ・委員が現在所属し、又は3年以内に所属していた大学に関するもの
- ・その他委員が中立・公正に審査を行うことが困難であると判断されるもの

委員は上記に留意し、利益相反の事実あるいはその可能性がある場合には速やかに事務局に申し出るとともに、当該大学についてのフォローアップを行わないこととし、会議においても当該事案に関する個別審議については加わらないこととする。

(3) 情報の管理、守秘義務、実施状況報告書の用途制限

- 1) 全ての委員には守秘義務が課されているため、フォローアップの過程で知り得た個人情報及び審議内容に係る情報については外部に漏らしてはならない。フォローアップに係る調書には個人情報が含まれるものもあるため、外部に漏らすことは個人情報保護法違反に直結することに留意すること(フォローアップの参考とするための専門的知識を第三者に照会する場合には、個人情報も含めそれが当該フォローアップに関係していることを伏せること)。
- 2) 個人情報や機密情報を含む情報の漏洩リスクがあるため、計画調書等フォローアップ関係資料の内容を、生成AIに入力しないこと。
- 3) 委員として取得した情報(実施状況報告書等各種資料を含む。)は、他の情報と区別し、善良な管理者の注意義務をもって管理する。
- 4) 審議に係る資料等は、事業のフォローアップを行うことを目的とするものであり、その目的の範囲内で使用する。

地域活性化人材育成事業～SPARC～ 令和〇年度実施状況報告書

事業責任大学名		整理番号	
タイプ名			
事業計画名			
対象地域			
事業のキーワード			
事業協働機関	参加校		
	地方公共団体		
	企業・経済団体		
	金融機関		
	その他		
事業期間	令和4年度～令和9年度（6年間）		

事業計画責任者	職名・氏名	
事務担当者	職名・氏名	
	電話番号	
	E-Mail	

<概要>

事業の概要（※400字以内）

（事業責任大学等名： 、事業計画名： ）

進捗状況の概要（1ページ以内）

（事業責任大学等名： 、事業計画名： ）

<実施状況>

1. 事業の目的及び概要（2ページ以内）

【取組内容・成果】

① 事業の共通目標の達成状況

② 共通目標以外の設定目標の達成状況

③ 事業協働機関の役割

（地方公共団体の役割）

（企業等の役割）

（金融機関の役割）

④ 大学等連携推進法人設立に向けた準備状況・計画

（事業責任大学等名： 、事業計画名： ）

3. 高大接続に係る取組と社会人等を対象とした履修証明プログラムや講座等について（1ページ以内）

【取組内容・成果】

① 高大接続に係る取組

<〇〇大学>

② 社会人等を対象とした履修証明プログラムや講座等

<〇〇大学>

（事業責任大学等名： 、事業計画名： ）

5. 年度別実施計画（2 ページ以内） ※当該年度のみ

- 「補助期間中の自己負担率を高めるための具体的計画」の状況の説明も含め記入してください。
- 申請時と差異が発生している事項があれば、その要因を記載してください。

<令和〇年度> ※申請時

<令和〇年度の状況>

(事業責任大学等名： 、事業計画名：)

6. (タイプ①のみ) 学部等の再編構想について (1ページ以内)

【取組内容・成果】

(事業責任大学等名： 、事業計画名：)

7. 留意事項等への対応状況（留意事項等1点につき半ページ程度）

【改善を要する点】

【令和○年度の対応状況】

（事業責任大学等名： 、事業計画名： ）

8. 本事業プログラムの受講者及び学生受入の状況

① 参加学位プログラムで試行・開発する教育プログラムの対象となる学生数

1. 対象となる学生について

--

2. 受講者数の実績

(1) 総表

年度	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
令和5年度	0	0	0	0
令和6年度	0	0	0	0
令和7年度	0	0	0	0
令和8年度	0	0	0	0
令和9年度	0	0	0	0
計	0	0	0	0

(2) 年度別・学生の所属学部別

【令和5年度】

大学・学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

【令和6年度】

大学・学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

【令和7年度】

大学・学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

【令和8年度】

大学・学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

【令和9年度】

大学・学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

8. 本事業プログラムの受講者及び学生受入の状況

② 再編後の学位プログラムの受入学生数 (タイプ①のみ必須、タイプ②は任意)

1. 令和〇年度の本事業により再編した学位プログラムの学生定員(1学年あたり)

2. 学生選抜の状況

3. 受入学生数の実績

(1)総表

年度	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
令和5年度	0	0	0	0
令和6年度	0	0	0	0
令和7年度	0	0	0	0
令和8年度	0	0	0	0
令和9年度	0	0	0	0
計	0	0	0	0

(2)年度別・学生の所属学部別

【令和5年度】

学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

【令和6年度】

学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

【令和7年度】

学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

【令和8年度】

学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

【令和9年度】

学部等名	学年			
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年
年度計	0	0	0	0

【〇〇大学】

〇〇学部				
□□学部				
××学部				
...				

9. 授業科目の開講状況（1ページ以内）

- 令和〇年度のカリキュラムマップ等を添付してください。また、別紙に、本事業を通じて新たに開講したり変更を行った授業科目（連携開設科目として開設するものを含む。）を記入してください。

9. 授業科目の開講状況（別紙）

〇〇大学〇〇学部〇〇学科

1. 授業科目の一覧

【申請時】

番号	科目区分	授業科目の名称	開講時期	単位区分	単位数	授業形態	連携開設科目	取組要件との関連
			学年・学期					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

【令和4年度】

番号	科目区分	授業科目の名称	開講時期	単位区分	単位数	授業形態	連携開設科目	取組要件との関連
			学年・学期					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

【令和5年度】

番号	科目区分	授業科目の名称	開講時期	単位 区分	単位数	授業 形態	連携開設 科目	取組要件との関連
			学年・学期					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

【令和6年度】

番号	科目区分	授業科目の名称	開講時期	単位 区分	単位数	授業 形態	連携開設 科目	取組要件との関連
			学年・学期					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

(事業責任大学等名： 、事業計画名：)

【令和7年度】

番号	科目区分	授業科目の名称	開講時期	単位 区分	単位数	授業 形態	連携開設 科目	取組要件との関連
			学年・学期					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

【令和8年度】

番号	科目区分	授業科目の名称	開講時期	単位 区分	単位数	授業 形態	連携開設 科目	取組要件との関連
			学年・学期					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

(事業責任大学等名： 、事業計画名：)

【令和9年度】

番号	科目区分	授業科目の名称	開講時期	単位 区分	単位数	授業 形態	連携開設 科目	取組要件との関連
			学年・学期					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

2. 授業科目等数の一覧(年度別)

	再編した 授業科目	連携開設科目		STEAM教育		地域学・地域課題PBL		アントレプレナーシップ 教育	
		科目数 (合計)	科目数	履修者数	科目数	履修者数	科目数	履修者数	科目数
申請時の計画 ^{※1}	0	0	0人	0	0人	0	0人	0	0人
令和4年度	0	0	0人	0	0人	0	0人	0	0人
令和5年度	0	0	0人	0	0人	0	0人	0	0人
令和6年度	0	0	0人	0	0人	0	0人	0	0人
令和7年度	0	0	0人	0	0人	0	0人	0	0人
令和8年度	0	0	0人	0	0人	0	0人	0	0人
令和9年度	0	0	0人	0	0人	0	0人	0	0人

(※1) 再編した授業科目数の申請時の計画欄については、申請時調書様式2-1「4. 本事業で行う教育プログラムについて」の記載を踏まえて、申請時に計画していた再編授業科目数、履修者数を記載してください。

(事業責任大学等名： 、事業計画名：)

10. 当該年度までの取り組みに要した費用概況（単位：千円） ※千円未満は切り捨て

年度(令和)	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	
事業規模								
内訳	補助金支出額 (合計)							
	区分	物品費						
		人件費・謝金						
		旅費						
		その他						
	大学負担額 (合計)							
	区分	物品費						
		人件費・謝金						
		旅費						
		その他						

※経費ごとに申請時と1,000万円以上の差異が発生している事項があれば、その主な要因を以下の欄へ記載してください。

地域活性化人材育成事業～SPARC～
令和〇年度委員フォローアップ報告書

地域活性化人材育成事業～SPARC～委員会

事業責任大学名		整理番号	
タイプ名			
事業計画名			

1. 進捗状況の概要(留意事項への対応状況等)

2. 課題・意見(今後、フォローアップが必要と思われる点、指導・助言内容等)

3. その他

【追加確認の必要性について ※開示時非公開】

・追加確認の必要の有無

有

無

※追加確認を必要とする理由

--

※追加確認の実施方法

書面

現地視察

※事前質問事項(委員会で追加確認の必要ありとされた場合のみ大学へ送付)

①

②

③

地域活性化人材育成事業～SPARC～
令和〇年度委員現地視察報告書

地域活性化人材育成事業～SPARC～委員会

事業責任大学名		整理番号	
タイプ名			
事業計画名			

1. 進捗状況の概要

2. 指導・助言した内容